



2021年3月期 第1四半期決算説明資料

2020年 7月 30日

喜びを創り喜びを提供する

 寿スピリッツ

<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



目次



- **新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響** P 1~2
- **2021年3月期 第1四半期決算概要** P 3~25
- **今後の経営方針** P 26~32
- **株式の状況・株主還元** P 33~36
- **参考情報** P 37~51



新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響

新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響

<2021年3月期 第1四半期>

- 期初の「緊急事態宣言」発令を受け、外出自粛要請に伴う移動の減少、商業施設の臨時休業などにもとまない、当社グループにおける事業活動は、大幅縮小を余儀なくされた。役員報酬及び賞与の減額などによる人件費の抑制などのコスト削減に努めるものの、売上高の大幅に落ち込みにより、四半期純損失計上を強いられる厳しい結果となった。
- 当第1四半期の月別売上高(海外子会社除く)は、4月が前年同月比82.4%減、5月が同 79.0%減、6月が同61.5%減。
- 外出自粛に伴う巣ごもり需要増加などにより、「ルタオ」をメインとする通信販売は前年同期比46.2%増の826百万円と堅調に推移。
- 当座貸越枠を32億円から78億円に増額し、資金流動性の確保を図る。
- 雇用調整助成金の申請などにより、助成金収入623百万円を営業外収益に計上。

<足元の状況>

- 都道府県をまたぐ移動の自粛解除など、段階的な自粛解除により、一部に回復の兆候が見られるものの、最近の首都圏及び主要都市の検査陽性者数増加傾向などにより、移動自粛ムードは残り、回復ペースは低調に推移している。
- 緊急事態宣言解除後、全ての直営店補の営業は再開。生産面では、依然として先行き不透明感が強いことから、引き続き、稼働を抑制し、在庫の圧縮に努めている。

<2021年3月期の業績予想及び配当予想について>

- 現時点では引き続き「未定」。業績予想が可能となった段階で、速やかに開示する予定。



2021年3月期
第1四半期決算概要

2021年3月期 第1四半期の業績ハイライト

売上高 74.4%減収、純損失1,163百万円

新型コロナウイルスの感染拡大による、「緊急事態宣言」発令を受け、外出自粛要請にともなう移動の減少、商業施設の臨時休業などにより、当社グループにおける事業活動は、大幅な縮小を余儀なくされた結果、四半期純損失計上を強いられる厳しい第1四半期業績となった。

(四半期業績)	2020.3期				2021.3期
	1Q会計 (4-6)	2Q会計 (7-9)	3Q会計 (10-12)	4Q会計 (1-3)	1Q会計 (4-6)
(単位:百万円)					
売上高 (対前年同期比)	10,627 (+23.5%)	11,761 (+20.7%)	13,287 (+17.9%)	9,506 (△14.8%)	2,716 (△74.4%)
経常利益 (対前年同期比)	1,567 (+87.7%)	1,981 (+49.8%)	2,694 (+22.9%)	233 (△86.0%)	△1,755 (-)
純利益 (対前年同期比)	1,023 (+100.5%)	1,246 (+52.3%)	1,702 (+12.4%)	130 (△88.5%)	△1,163 (-)

第1四半期のトピックス①

ケイシイシイ 通信販売が好調に推移
(通販売上671百万円 前年同期比56.0%増)
母の日ギフト・夏ギフト対策強化が奏功



第1四半期のトピックス②

台湾 Cow Cow Kitchen新光三越A11店が好調なスタート

本年3月26日に台湾初登場となるCow Cow Kitchenを新光三越台北信義新天地に出店



2021年3月期 第1四半期業績(対前年同期)

大幅な減収及び生産調整にともない、製造固定費をカバーできず
売上総利益率が悪化

(百万円、%)	前第1四半期		当第1四半期		対前年同期		(参考)前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	10,627	—	2,716	—	△ 7,911	△ 74.4	45,181	—
売上総利益	6,320	59.5	611	22.5	△ 5,709	△ 90.3	26,702	59.1
販売管理費	4,765	44.8	3,020	111.2	△ 1,744	△ 36.6	20,248	44.8
営業利益	1,555	14.6	△ 2,409	—	△ 3,964	—	6,455	14.3
経常利益	1,567	14.8	△ 1,755	—	△ 3,323	—	6,475	14.3
四半期(当期)純利益※	1,023	9.6	△ 1,163	—	△ 2,186	—	4,100	9.1
EPS(円)	32.86		△37.38				131.76	

※ 四半期(当期)純利益＝親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

販売管理費・営業利益

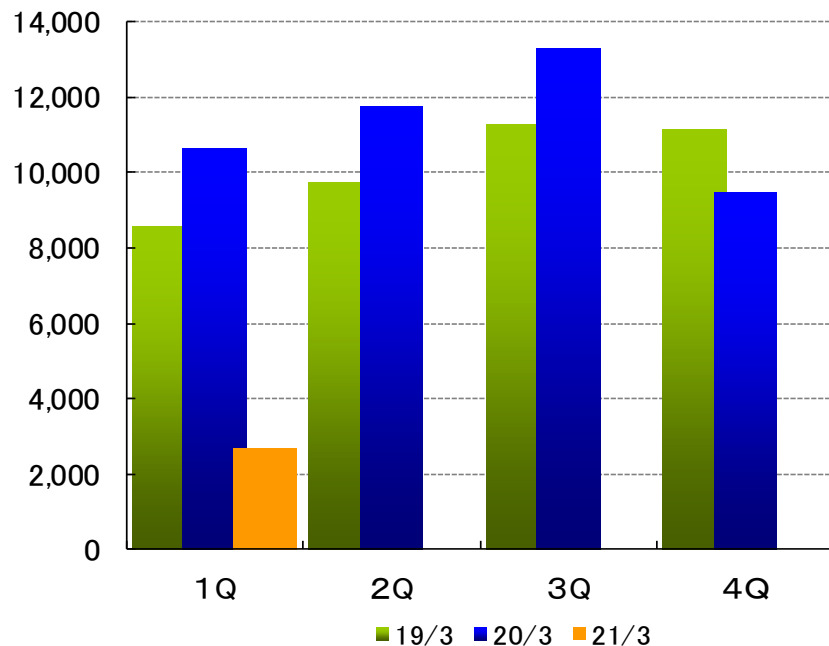
人件費・販売促進費の抑制などのコスト削減及び売上変動により
販売管理費が前年同期比で1,744百万円減少

(百万円、%)	前第1四半期		当第1四半期		対前年同期		(参考)前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	6,320	59.5	611	22.5	△ 5,709	△ 90.3	26,702	59.1
人件費	1,916	18.0	1,521	56.0	△ 395	△ 20.6	7,695	17.0
販売促進費	757	7.1	335	12.3	△ 423	△ 55.8	3,567	7.9
運賃	459	4.3	234	8.6	△ 224	△ 48.9	2,026	4.5
広告宣伝費	68	0.6	79	2.9	11	16.2	294	0.7
地代家賃	713	6.7	291	10.7	△ 422	△ 59.2	3,116	6.9
減価償却費	130	1.2	128	4.7	△ 1	△ 0.9	570	1.3
旅費交通費	160	1.5	28	1.0	△ 133	△ 82.7	621	1.4
その他	562	5.3	404	14.9	△ 157	△ 28.0	2,359	5.2
販売管理費	4,765	44.8	3,020	111.2	△ 1,744	△ 36.6	20,248	44.8
営業利益	1,555	14.6	△ 2,409	—	△ 3,964	—	6,455	14.3

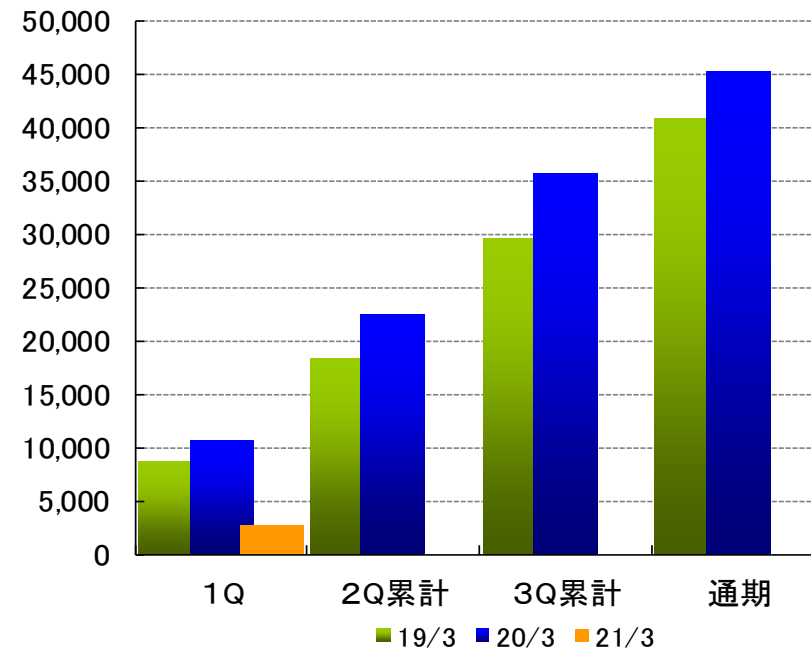
四半期業績の推移(売上高)

(1Q会計)新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅減収

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



(百万円) 累計期間売上高の3期間比較

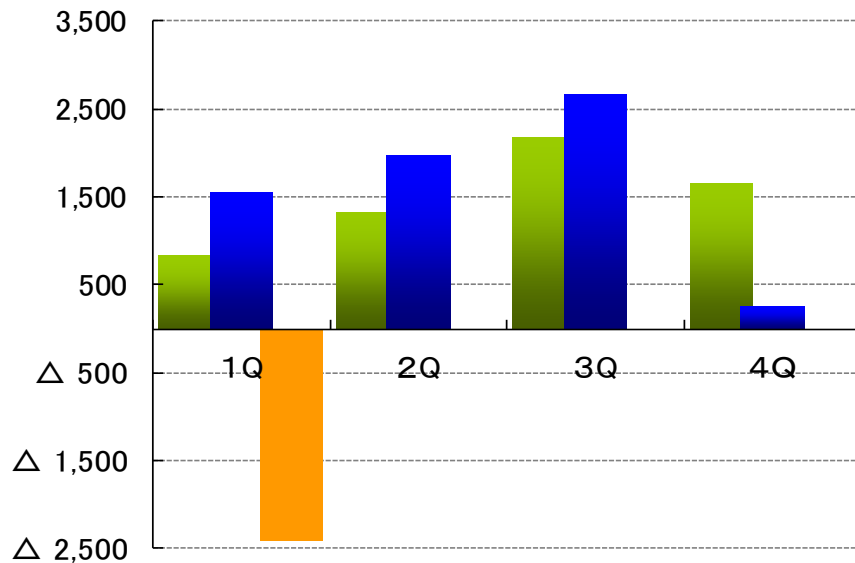


(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
19/3	8,601	9,747	11,268	11,153	8,601	18,348	29,616	40,769
20/3	10,627	11,761	13,287	9,506	10,627	22,388	35,675	45,181
21/3	2,716	-	-	-	2,716	-	-	-
増減率	△74.4%				△74.4%			

四半期業績の推移(営業利益)

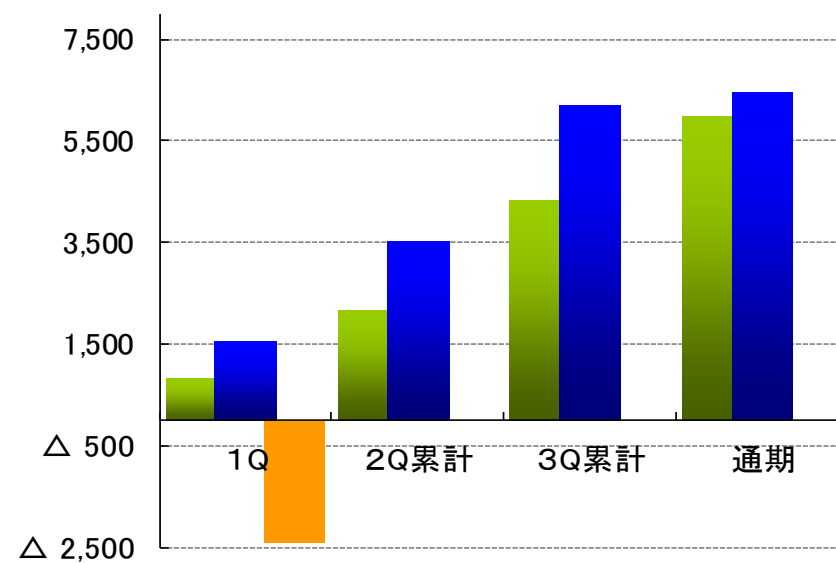
(1Q会計)新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅赤字

(百万円) 会計期間営業利益の3期間比較



■ 19/3 ■ 20/3 ■ 21/3

(百万円) 累計期間営業利益の3期間比較



■ 19/3 ■ 20/3 ■ 21/3

(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
19/3	830	1,321	2,167	1,658	830	2,151	4,318	5,976
20/3	1,555	1,964	2,672	264	1,555	3,519	6,191	6,455
21/3	△ 2,409	-	-	-	△ 2,409	-	-	-
増減率	-	-	-	-	-	-	-	-

セグメント別概況



- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- 九十九島グループ
- その他

セグメント別業績(対前年同期)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、各セグメントとも軒並み苦戦を強いられる

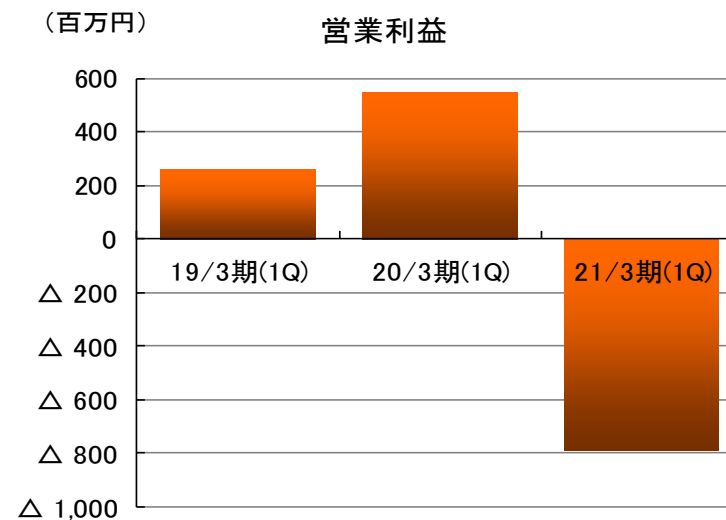
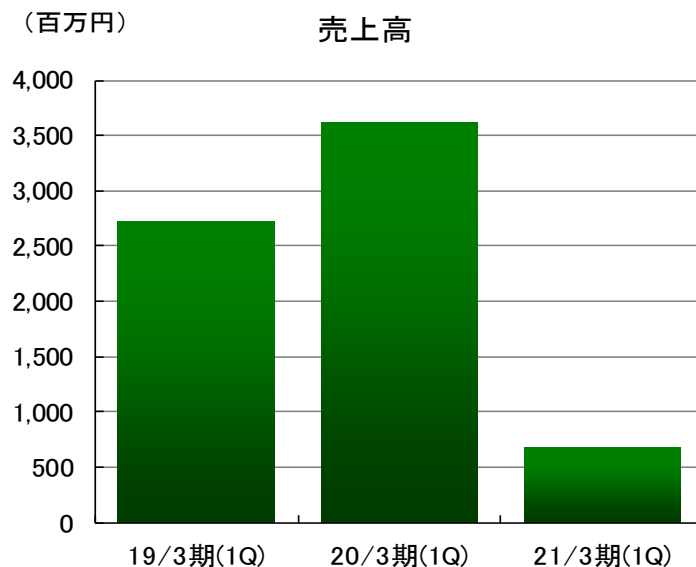
(百万円、%)	売上高				営業利益		
	前第1Q	当第1Q	増減額	増減率	前第1Q	当第1Q	増減額
シュクレイ	3,625	675	△ 2,950	△ 81.4	547	△ 789	△ 1,337
ケイシイシイ	2,878	1,114	△ 1,764	△ 61.3	251	△ 517	△ 768
寿製菓・但馬寿	2,690	580	△ 2,110	△ 78.4	347	△ 543	△ 890
販売子会社	1,606	208	△ 1,398	△ 87.0	163	△ 216	△ 379
九十九島グループ	1,059	224	△ 835	△ 78.9	101	△ 291	△ 393
その他※	258	132	△ 126	△ 48.8	△ 30	△ 9	21
セグメント計	12,117	2,933	△ 9,184	△ 75.8	1,379	△ 2,366	△ 3,745
調整額	△ 1,490	△ 217	1,273	△ 85.4	176	△ 43	△ 219
合計	10,627	2,716	△ 7,911	△ 74.4	1,555	△ 2,409	△ 3,964

※「その他」のセグメントに含まれるHoney Sucrey Limited(香港)は本年2月に事業を閉鎖し、現在清算手続き中であります。

《シュクレイ》

当1Q実績:売上高 **675**百万円(前1Q比 $\Delta 81.4\%$)営業利益 **$\Delta 789$** 百万円(前1Q 547百万円)

感染収束後に備えて新商品開発の強化に注力するとともに、郊外型店舗及びSA市場において自家需要向け商品の強化に注力。出店では、本年6月に羽田空港第1ターミナルに新ブランド「オリエンタルショコラ by コートクール」の新規出店及び「東京ミルクチーズ工場」のリロケーションを実施。



シュクレイ

(百万円,%)	19/3期(1Q)	20/3期(1Q)	21/3期(1Q)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	2,718	3,625	675	$\Delta 2,950$	$\Delta 81.4$
売上総利益	1,667	2,255	108	$\Delta 2,147$	$\Delta 95.2$
粗利率	61.3	62.2	16.1	$\Delta 46.1$	
販売管理費	1,406	1,708	898	$\Delta 810$	$\Delta 47.4$
営業利益	261	547	$\Delta 789$	$\Delta 1,337$	-

《シュクレイ》

羽田空港第1ターミナルで2ブランド同時オープン



オリエンタルショコラ by コートクール 羽田空港第1ターミナル店(2020年6月)



東京ミルクチーズ工場

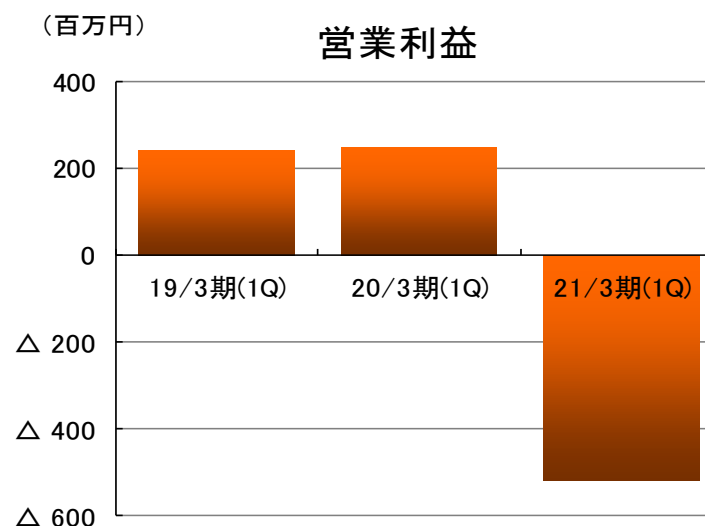
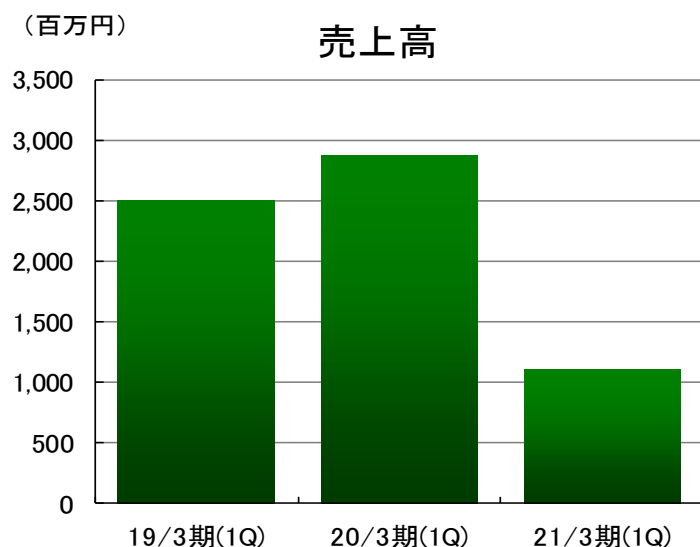


東京ミルクチーズ工場 羽田空港第1ターミナル店(2020年6月)リロケーションオープン

《ケイシイシイ》

当1Q実績:売上高 **1,114**百万円(前1Q比 $\Delta 61.3\%$)営業利益 **$\Delta 517$** 百万円(前1Q 251百万円)

通信販売において、母の日ギフト対策の強化、期間限定商品の投入及び会員向けカタログの充実を図り、主力商品「ドゥーブルフロマージュ」、アントルメグラッセをベースとしたカップアイス「パルフェ ミニヨン」、サンドアイス「サブレグラッセ」などによる夏ギフト対策に注力。また、アントルメグラッセ専門店「グラッセル」表参道店は、収益性の改善を図るため、物販に特化し、本年6月に近隣に移転リニューアル。



ケイシイシイ

(百万円,%)	19/3期(1Q)	20/3期(1Q)	21/3期(1Q)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	2,502	2,878	1,114	$\Delta 1,764$	$\Delta 61.3$
売上総利益	1,541	1,737	549	$\Delta 1,188$	$\Delta 68.4$
粗利率	61.6	60.4	49.3	$\Delta 11.1$	
販売管理費	1,298	1,486	1,066	$\Delta 420$	$\Delta 28.3$
営業利益	243	251	$\Delta 517$	$\Delta 768$	-



《ケイシイシイ》

アントルメグラッセ・グラス専門店「GLACIEL表参道店」移転リニューアルオープン



GLACIEL表参道店(2020年6月)



生グラス

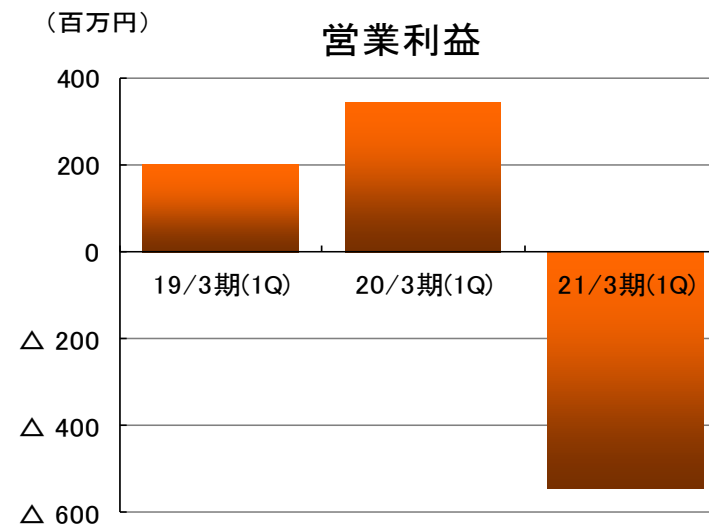
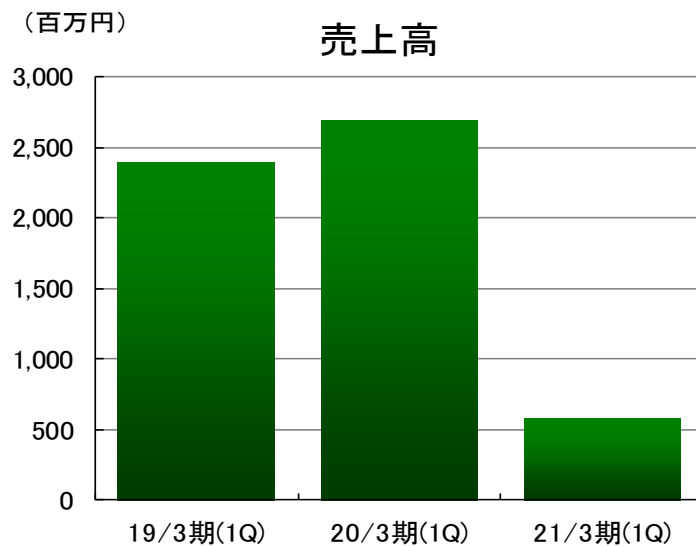


バルーンドフリュイ

《寿製菓・但馬寿》

当1Q実績:売上高 **580**百万円(前1Q比 $\Delta 78.4\%$)営業利益 **$\Delta 543$** 百万円(前1Q 347百万円)

感染収束後に備えて新商品開発の強化に注力するとともに、ドラッグストア向けなど新たな販路開拓や遊月亭ブランドなどによる通信販売の強化などに注力。



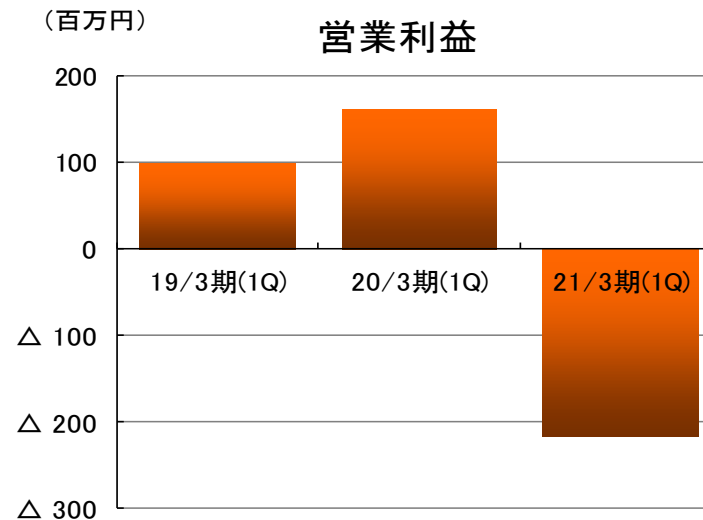
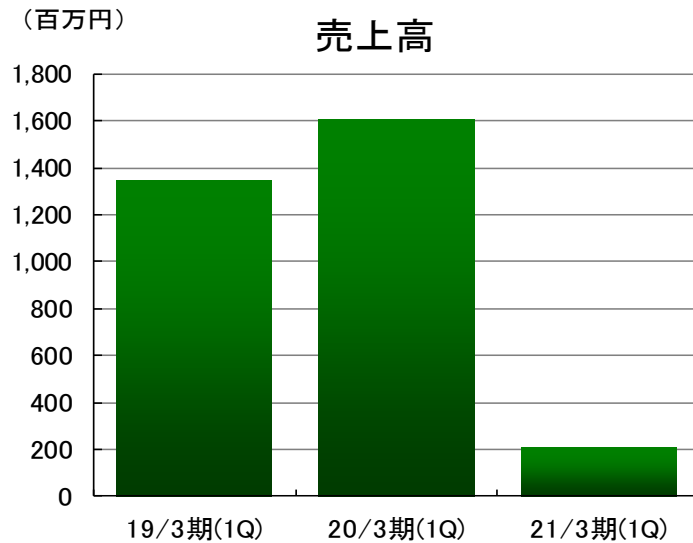
寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	19/3期(1Q)	20/3期(1Q)	21/3期(1Q)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	2,394	2,690	580	$\Delta 2,110$	$\Delta 78.4$
売上総利益	879	1,108	$\Delta 139$	$\Delta 1,247$	-
粗利率	36.7	41.2	$\Delta 24.0$	$\Delta 65.2$	
販売管理費	675	761	404	$\Delta 357$	$\Delta 46.9$
営業利益	204	347	$\Delta 543$	$\Delta 890$	-

《販売子会社》

当1Q実績:売上高 **208**百万円(前1Q比 $\Delta 87.0\%$)営業利益 **$\Delta 216$** 百万円(前1Q 163百万円)

感染収束後に備えて新商品開発の強化に注力するとともに、売場シェア拡大に向けた提案営業の強化などに注力。



販売子会社

(百万円,%)	19/3期(1Q)	20/3期(1Q)	21/3期(1Q)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,347	1,606	208	$\Delta 1,398$	$\Delta 87.0$
売上総利益	471	582	46	$\Delta 535$	$\Delta 92.0$
粗利率	35.0	36.2	22.2	$\Delta 14.0$	
販売管理費	372	419	263	$\Delta 156$	$\Delta 37.3$
営業利益	99	163	$\Delta 216$	$\Delta 379$	-

《販売子会社》

ひだ寿庵



東海寿



三重寿庵



寿庵



寿香寿庵



南寿製菓



寿堂



せとうち寿



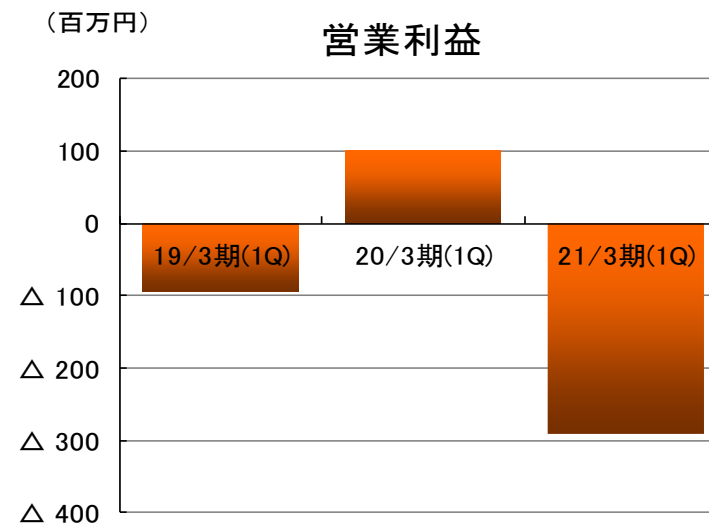
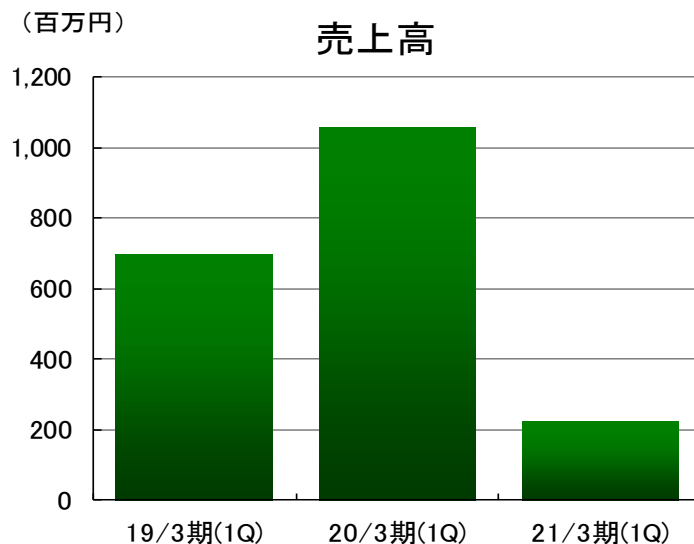
花福堂



《九十九島グループ》

当1Q実績:売上高 **224**百万円(前1Q比 $\Delta 78.9\%$)営業利益 **$\Delta 291$** 百万円(前1Q 101百万円)

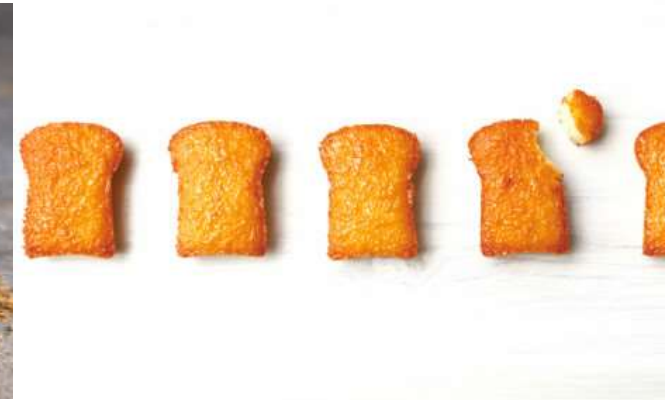
感染収束後に備えて新商品開発の強化に注力するとともに、フレンチトースト専門店「アイボリッシュ」において、7周年記念特別メニューの投入、テイクアウト及びデリバリーなどの対策を強化。



九十九島グループ

(百万円,%)	19/3期(1Q)	20/3期(1Q)	21/3期(1Q)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	695	1,059	224	$\Delta 835$	$\Delta 78.9$
売上総利益	276	517	$\Delta 39$	$\Delta 556$	-
粗利率	39.7	48.8	$\Delta 17.3$	$\Delta 66.2$	
販売管理費	371	416	252	$\Delta 164$	$\Delta 39.4$
営業利益	$\Delta 95$	101	$\Delta 291$	$\Delta 393$	-

《九十九島グループ》



Ivorish
Premium French Toast

九十九島せんぺい



赤い風船



I LOVE CUSTARD
アイラブカスタードヌフヌフ



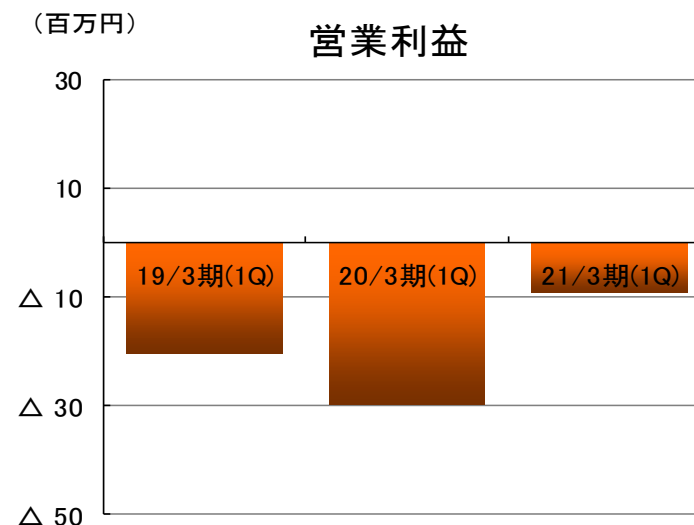
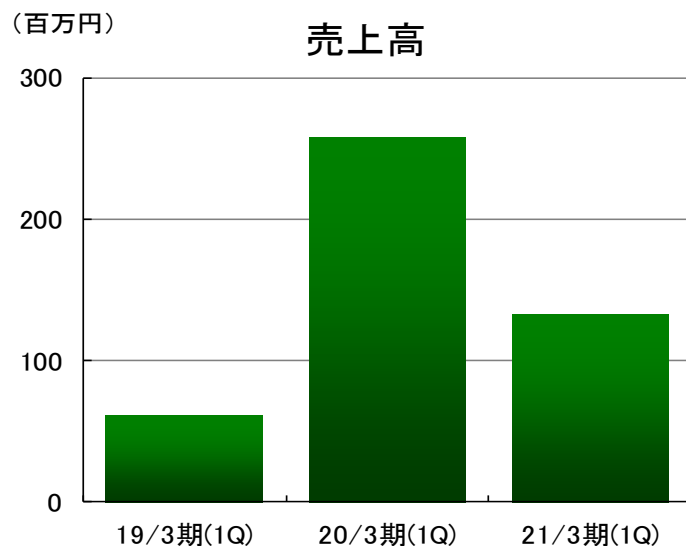
MISTER CARAMELIST



《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾・香港)菓子事業>

当1Q実績:売上高 **132**百万円(前1Q比 $\Delta 48.8\%$)営業利益 **$\Delta 9$** 百万円(前1Q $\Delta 30$ 百万円)

海外連結子会社Honey Sucrey Limited(香港)は、急激な事業環境な悪化を踏まえ、事業再建が困難と判断し、本年1月開催の当社取締役会において清算計画を決議した。本年2月に事業を閉鎖し、現在清算手続き中。



その他

(百万円,%)	19/3期(1Q)	20/3期(1Q)	21/3期(1Q)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	61	258	132	$\Delta 126$	$\Delta 48.8$
売上総利益	34	151	96	$\Delta 55$	$\Delta 36.6$
粗利率	55.8	58.6	72.6	13.9	
販売管理費	54	181	105	$\Delta 76$	$\Delta 42.0$
営業利益	$\Delta 20$	$\Delta 30$	$\Delta 9$	21	-

(注)20/3期より、19/3期に連結の範囲に含めました Honey Sucrey Limited(香港)が含まれております。

《その他》

台湾菓子事業



Cow Cow Kitchen
台湾 新光三越台北信義新天地店

純藍

健康食品事業(純藍事業)



純藍茶

貸借対照表

流動資産の減少は、主に現預金及び売上債権の減少によるもの

(百万円、%)	19年3月期		20年3月期		21年3月期1Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	13,202	50.9	13,444	50.1	9,155	39.8	△ 4,289	△ 31.9
固定資産	12,751	49.1	13,370	49.9	13,820	60.2	450	3.4
資産合計	25,954	100.0	26,814	100.0	22,975	100.0	△ 3,839	△ 14.3
流動負債	5,804	22.4	3,846	14.3	2,404	10.5	△ 1,443	△ 37.5
固定負債	1,855	7.1	1,803	6.7	1,827	8.0	24	1.3
負債合計	7,659	29.5	5,649	21.1	4,230	18.4	△ 1,419	△ 25.1
純資産	18,294	70.5	21,165	78.9	18,745	81.6	△ 2,420	△ 11.4
負債純資産合計	25,954	100.0	26,814	100.0	22,975	100.0	△ 3,839	△ 14.3
BPS(円)	587.87		680.11		602.34		△ 77.77	△ 11.4
現金及び預金	5,660		8,291		5,330		△ 2,961	△ 35.7
有利子負債	433		180		120		△ 60	△ 33.4

Memo



プレミアムスイーツで
世界を幸せに!





今後の経営方針

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現時点では合理的な業績予想の算定が困難なことから、2021年3月期(通期)の業績予想の開示を「未定」といたしております。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。

経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた重点施策

今後の見通しにつきましては、緩やかな景気回復基調で推移していた昨年の状況から一変し、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、戦後最大の危機に直面していると言われるほど経済活動及び個人消費に与える影響は計り知れず、かつて経験したことのない深刻な事態となっております。このような未曾有の環境下、当社グループは、目まぐるしく変化している国内外の市場動向及び消費者ニーズを迅速に把握し、次の施策を2段階構えで、全従業員の総力を結集し、積極果断に対処してまいります。

◆緊急事態フェーズ（感染拡大の収束まで）

従業員及びステークホルダーの安全・健康を第一に考え、政府及び各自治体の方針などに従い、感染予防策を引き続き講じてまいります。また、当面、事業活動の大幅な縮小を余儀なくされることから、徹底したコスト削減及び支出の抑制に努めることで経営体質をより強固なものにし、収束後を見据えた万全な対策準備に取り組んでまいります。

〈緊急対策〉

- ① 感染予防策の徹底
- ② コスト削減（人件費の縮減含む）及び資金流動性の確保
- ③ 在庫の適正化（新鮮でより美味しい商品をお客様にお届けすることを最優先に考える）
- ④ 収束後を見据えた新ブランド及び新商品開発の準備並びに提案営業の推進
- ⑤ 通信販売の対策強化（EC対策及びロイヤルカスタマー対策等の強化）

新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた重点施策

◆回復フェーズ(感染収束後)

収束後の消費環境は、外出自粛要請の緩和や政府による緊急経済対策などにより、徐々に回復基調で推移するものの個人消費の低迷による業績への影響は避けられないものと予想されます。当社グループは、事態の鎮静化後に迅速に事業活動を回復させ、成長軌道に乗せるべく、以下の事項を当面の重点施策と捉え、対処してまいります。

〈当面の重点施策〉

- ① 「超現場主義」による組織力の向上
- ② 主カブランド・主力商品の育成と新ブランド・新商品新販路の創造
- ③ 首都圏展開の推進
- ④ インバウンド対策の強化
- ⑤ 海外事業における成長モデルの構築

グループ各社 新ブランド・新売場の準備を徹底強化



EXPASA海老名(下り) (2020年7月)

ケイシイシイ(東京駅出店予定)



グランスタ東京
(2020年8月)



東京ギフトパレット(2020年8月)



シュクレイ(東京駅出店予定)



グランスタ東京
(2020年8月)



ピーチショップ
by FRANÇAIS



FRANÇAIS

東京ギフトパレット(2020年8月)



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2020年3月31日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株

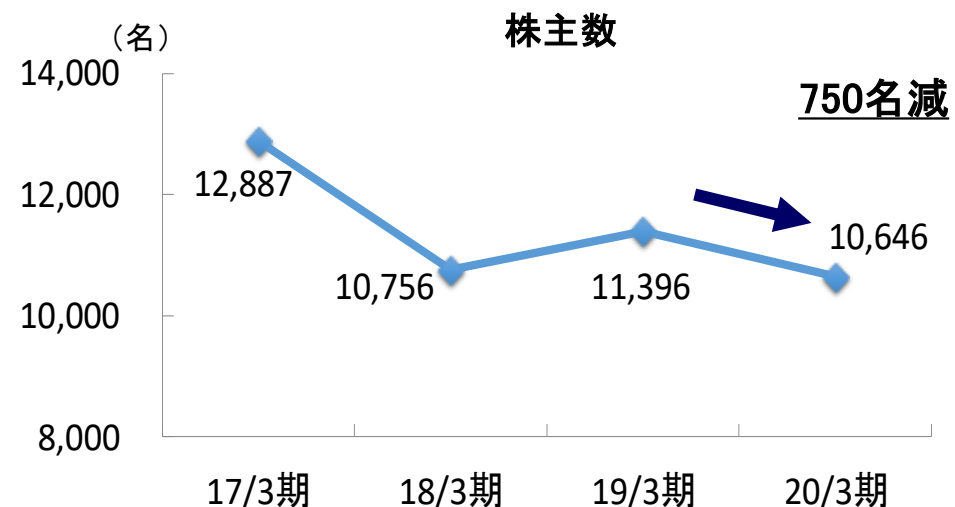
■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

■株主数 10,646名

(対前期末比 750名減)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,706,300	5.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,090,900	3.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	911,800	2.93
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89

注)出資比率は、自己株式1,905株を除く

株主還元

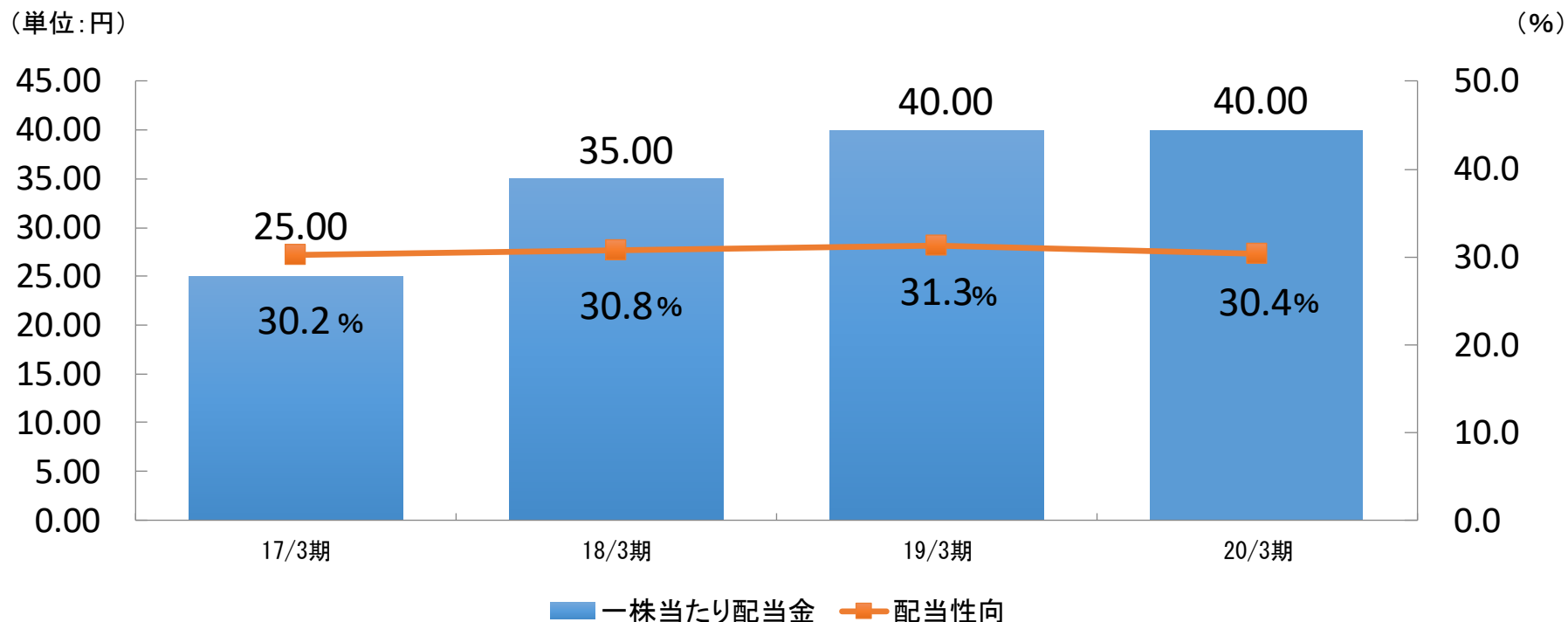
2021年3月期の配当予想については、業績予想の開示が可能になった段階で速やかに開示する予定です。

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2020年3月期1株当たり配当金 40円

一株当たり配当金・配当性向推移



株主優待制度について

当社では、毎期3月末現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおり株主優待をお贈りいたします。

ご所有株式数	内容
100株以上500株未満	2,000円相当のグループ製品
500株以上1,000株未満	4,000円相当のグループ製品
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 + 3,000円相当の直営店舗利用券(代替商品送付可)

【2020年度の株主優待商品】

100株以上500株未満ご所有の株主様
2,000円相当のグループ製品



500株以上ご所有の株主様
4,000円相当のグループ製品



【株主優待券】

1,000株以上ご所有の株主様





《参考情報》

会社概要



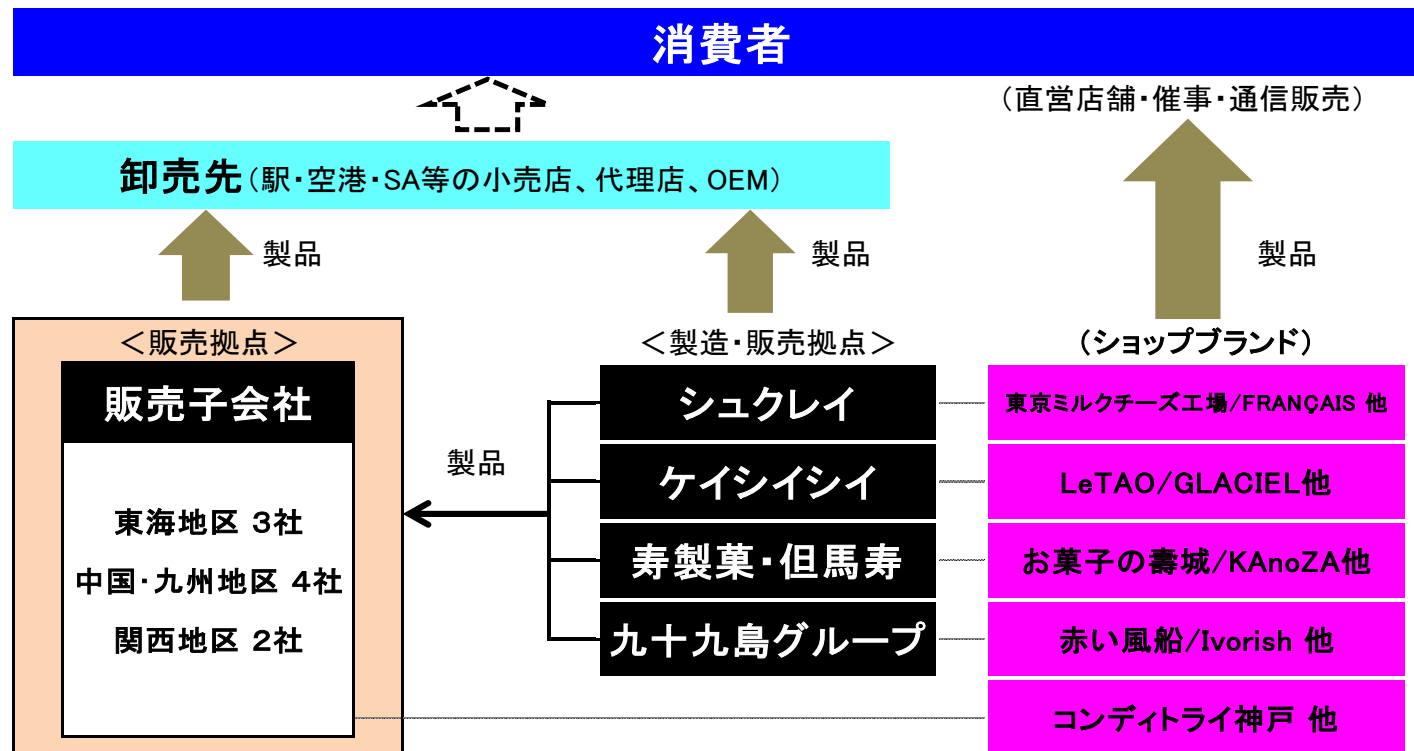
商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体7名・連結1,520名
グループ会社	連結子会社18社(国内16社・海外2社)
連結売上高	452億円(2020年3月期)

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社18社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキを設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月 (平成28年) 株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) 株式会社シュクレイが株式会社フランセを吸収合併。
- 2018年11月 (平成30年) 合併会社の持分取得によりHoney Sucrey Limitedを子会社化。



小樽洋菓子舗ルタオ



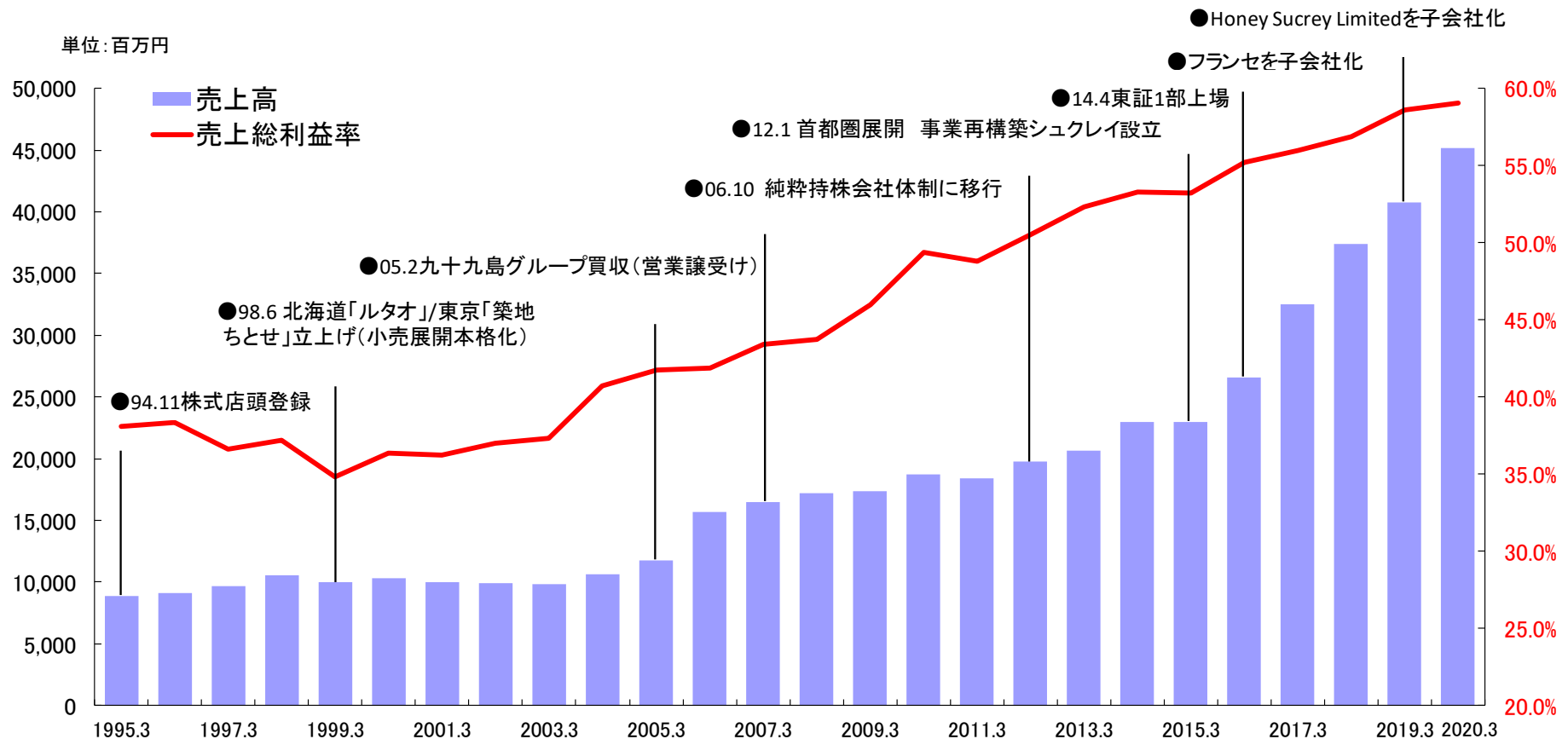
“ドゥーブルフロマージュ”



“九十九島せんぺい”

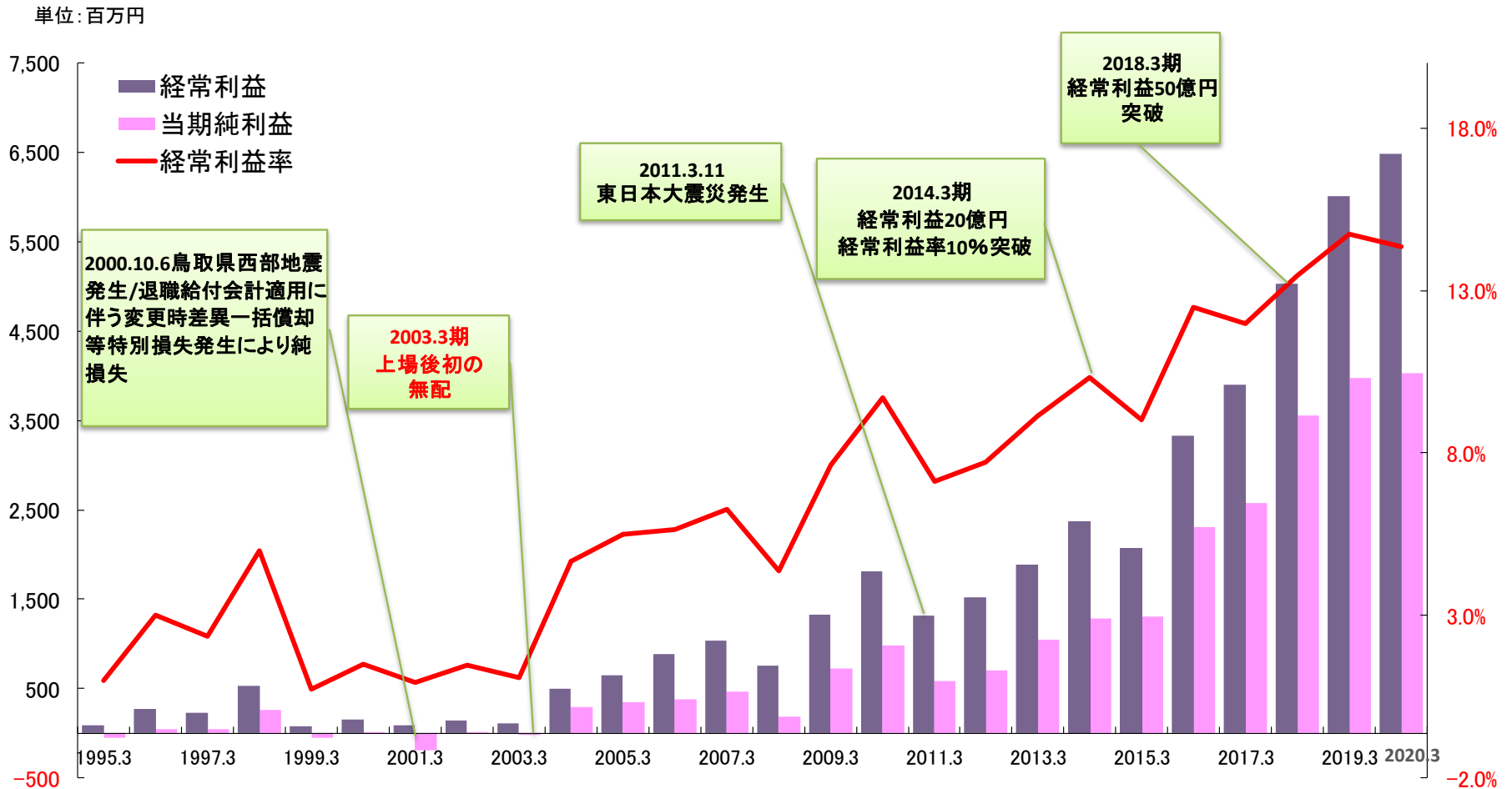
寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進
組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

当期純利益 2013年3月期から8期連続で過去最高を更新



主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

焱
KÄNOZA
IZUMO

(山陰)



(北海道)



(福岡・東京)



東京ミルクチーズ工場

(東京)



(東京)



(佐世保・福岡)



(神戸)



(東京)



FRANÇAIS
(東京)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
Nostalgic Sweets Master

「ドゥーブルフロマージュ」  寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



「九十九島せんぺい」



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。



《シュクレイ》

- 日本屈指の予約困難店日本料理「くろぎ」と南青山「GENDY」がコラボ「ザ・プレミアムビターキャラメルバー 抹茶 黒木 純監修」をクラウドファンディングMakuakeにて先行販売。(2020年6月4日～6月29日まで)





《シュクレイ》

●ブランドオリジナルマスク着用での接客販売

シュクレイでは、新型コロナウイルス感染拡大の予防の為、全販売員同志がマスクを着用した接客販売を行っています。オリジナルデザインのマスクはブランド毎にデザインが異なり、各ブランドの世界観を表現しています。また、マスクの下はいつも通りの笑顔で接客を行っています。



《ケイシイシイ》

●千歳市の教育・保育施設等へのお菓子の寄贈



ケイシイシイは、4月に本社所在地の千歳市の教育・保育施設、学童クラブ、子供食堂へのお菓子の寄贈をさせて頂きました。心を込めた美味しいお菓子をお届けし、元気一杯の喜びを子供達から受け取りました。



《寿製菓・但馬寿》

●白うさぎ一座による紙芝居公演

寿製菓の社員有志で結成された白うさぎ一座。地元保育園での紙芝居公演は大人気。素敵な神話と美味しいお菓子が引き継がれていく事を願い、これからも「因幡の白うさぎ」を伝え続けていきます。



《寿財団》

公益財団法人 寿財団
KOTOBUKI Foundation /

●公益財団法人寿財団のご紹介

弊社代表取締役社長河越誠剛が理事長を務める公益財団法人寿財団は、奨学金の給付を通じてより良い社会の構築に寄与すべく2019年2月に設立されました。

学業優秀であるにもかかわらず、経済的な理由で学費の支弁が困難な首都圏の大学に学ぶ学生に対して返還義務のない奨学金を給付することで、学業の奨励を図り、将来有望な優れた人材の育成に寄与してまいります。



奨学金の給付を通じて
より良い社会の構築に寄与いたします



詳しい情報につきましては公益財団法人寿財団のホームページをご覧ください。

<http://kotobukizaidan.org/>